

南国病院広報誌

第27号 2016年1月30日発行



つくし



日本医療機能評価機構認定病院
平成23年8月5日
審査体制区分2
Ver.6.0

■発行元■

南国市大塚甲 1479-3
医療法人つくし会 南国病院
Tel (代) 088-864-3137
<http://www.nankoku-hp.or.jp>

新年のご挨拶 理事長・院長 中澤 宏之



新たな年を迎え一言ご挨拶を申し上げます。1月もはや終わりに近づきましたが、職員の皆様には気持ちを新たに勤務されていることと思います。今年は4月に診療報酬改定を控え、秋には高知県地域医療構想が策定される見込みです。平成30年度までに市町村が取り組むべき在宅医療・介護連携推進事業も県内各地で検討が始まり、地域のあるべき医療提供体制の構築に向けよいよ具体的な取り組みが進む年と言えます。私自身、昨年6月1日に理事長に就任しましたが、診療面だけでなく病院経営、人材育成と教育、人事労務管理、対外的な戦略活動や地域貢献など多方面の役割を求められることになり、改めて責任の重さを実感しています。これまで以上に院内各部署とのコミュニケーションを活性化し、現場の意見を反映し、働きやすい職場、常に向上し続ける組織を目指していきます。当院が地域における役割と専門性を明確にし、患者様だけでなく医療従事者の方々にも選ばれる病院になれるよう理事長・院長として貢献していきたいと、新年にあたり気持ちを引き締めているところです。

既にご案内した平成28年度の事業計画は、診療体制の強化、人材育成、病院機能評価に向けた最終的な取組、大災害対策、安定した医療収入の確保を主な柱としております。その中でもチーム医療におけるケアプロセスの強化と実践は病院機能評価の受審に向けてだけでなく、まさに当院が重視している院内外での多職種協働の充実であり、皆で取り組んで頂きたいと思っています。6月の病院機能評価受審までは皆様にご苦労を掛けるとは思いますが、ぜひこの趣旨をご理解の上、院内全体で協力して準備を進めて頂きたいと思っております。6月以降は、病院の新築に向けた5ヶ年計画を策定し、各部署での準備体制を整備したいと考えています。現在の病院の構造面での課題をしっかりと評価し、新病院には更に働きやすい職場環境を実現したいと思っております。皆様の夢が詰まった新病院の実現に向け忌憚のない貴重なご意見をお待ちしております。

この一年が皆様にとって自己実現、目標達成に向けて充実した年になりますようお祈りしますとともに、ご健康とご活躍を期待しております。



通所リハビリテーション室

利用者さんと共に、毎月新しい物を作っています！

《 院内学術研修会 》 南国病院本館 多目的ホール

感染対策研修会 「発熱の診方」 感染症の早期発見 H27.10.30(金)

高知大学医学部附属病院
総合診療部 准教授/感染制御部 部長
武内 世生 先生



褥瘡対策研修会では、コンパテック ジャパン(株) 谷ロー夫氏に「創の状態における創傷被覆材の使い方」と題して創の状態にあった被覆材を選び使用する事で、創部が悪化せず、早期治癒することがよくわかりました。また、写真を見ることで創の状態を理解し、製品のサンプルを手にする事で肌触りや粘着度などが理解できました。コストについての話しもあり、導入を検討する際の参考にしていきたいと思えます。

病院の現場での法的な留意点 ～医療事故調査制度への対応～ H27.12.21(月)

紫藤法律事務所
弁護士
紫藤 秀久 先生



医療安全管理者 看護師 大黒 千明

感染対策研修会は、高知大学医学部附属病院准教授の武内世生先生に「発熱の診方～感染症の早期発見～」と題して感染症を診る上で大切な事や重要な事について丁寧に大変分かりやすい講義でした。

患者さんの“背景を考える”事が診断をする時に重要である事、発熱＝感染症ではないということを理解し、患者さんの看護をさせて頂く中でバイタルサインの異常を見逃さない事、特に呼吸数に注目することが大事であり炎症反応の値よりも有用である事など、感染症を早期に発見するポイントについて症例を交えて説明して下さい大変勉強になりました。

褥瘡対策研修会 創の状態における創傷被覆材の 使い方

H27.12.17(木)
コンパテック ジャパン(株)
西日本セールスリージョン
谷ロー夫 氏



最後の研修会は紫藤法律事務所の弁護士、紫藤秀久先生をお招きし「病院の現場での法的な留意点～医療事故調査制度への対応～」についての講義でした。念願であった弁護士さんの講義は、とても興味深く拝聴する事ができ、「医療事故調査制度」については具体的な説明で理解しやすい内容でした。訴訟になるのはほんの一握りの事例であり、カルテ記録が重要であること（迷ったら記録する）そして最も大事なことは日頃からの患者さんや家族との関係性（コミュニケーション）である事を再認識できました。

3研修会とも外部講師による研修会でした。今後も、専門家を講師としてお招きし、新しい知識を得る機会を継続していただける事を願います。